

公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 星の音			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月12日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和7年3月25日 ～ 令和7年4月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	プログラムが偏ったり同じものが続かないように過去のプログラムを振り返りながら立案している。	暖かくなってきたら課外活動の充実化を図りたい。
2	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	集団活動が苦手なお子さんなどには、空いている教室や個別の部屋を提供している。星槎国際高校に併設されているので教室の提供がしやすい。	お子さんが過ごしやすいように教室をその日によって使いやすくするなど工夫をしている。
3	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	ご契約時や体験の際、丁寧な説明を心がけている。不明な点なども随時、お受けする体制を整えている。	保護者の方へもっとわかりやすいパンフレットや資料があると良いのではと思っている。今後、作成して取り入れたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	建物の構造上、バリアフリー化は難しい。	身体障がいへの対応は困難だが集団生活が苦手なお子さんに對して別の教室を提供している。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	高校生が対象のデイのため児童会館へ行く機会はそこまでない。	地域交流を目的として今後、検討していきたい。
3	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	特別トラブルがあれば実施しているがそれ以外は、打ち合わせする機会が減ってしまった。	児発管、常勤だけではなく非常勤も含めた打ち合わせを増やしていきたい。